

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	准教授
氏名	泉美知子		
NAME	Michiko IZUMI		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記のとおりご報告いたします。

1. 研究課題

地方の風景と建築ー19世紀フランスにおけるリトグラフ研究

2. 研究期間

2020・2021・2022年度 ※2022年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により1年間延長

3. 費目別収支決算表

掲載省略

4. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

本研究は、19世紀前半のフランスで刊行された大型出版物『古きフランスのピトレスクでロマンティックな旅』（全24巻、1820-1878年）のリトグラフによる挿絵を考察対象とし、とりわけ北フランス地方の風景と建築の表象について考察するものである。この出版物は「出版と挿絵本の歴史、リトグラフと芸術の歴史、観光と旅行記の歴史」における重要性がこれまで指摘されてきたが、3000点を超えるイメージ群の全体像は未だ捉えられておらず、具体的な分析もなされていない。本研究は、リトグラフという新しい視覚効果を持つ技術によって描き出される地方の街並みや歴史的建造物のイメージに着目し、解説文の添えられた単なる挿絵ではなく、風景画の作品としての芸術的価値を検討し、美術史的な文脈に位置づけることを目指す。

2021年度は、町田市立国際版画美術館の展覧会「映える風景を探して」の図録論文で研究成果の一部を発表することができた。当初の計画ではノルマンディー地方とピカルディー地方における建築とその風景の現地調査をもとに、19世紀出版物の挿絵として制作されたリトグラフのイメージを分析する予定であった。しかしコロナと政情悪化により、研究期間の3年間はフランスへの渡航を実施できなかった。今後発表する研究成果では、フランスを訪れたイギリス水彩画家による影響、リトグラフのイメージと19世紀ロマン主義の関係、地方の風景と建築の描写をめぐる日仏比較を通して、風景画の考察に新しい眼差しを導入することを考えたい。

（英文）

This study examines the lithographic illustrations of the large publication *Voyages pittoresques et romantiques dans l'ancienne France* (24 volumes, 1820-1878), published in France in the first half of the 19th century, and in particular the representation of architecture and landscape in the north of France : Normandie and Picardie. The importance of this publication has been pointed out in the history of publishing and illustrated books, the history of lithography and art, the history of tourism and travel writing, but the whole of the group of over 3,000 images has yet been captured or analyzed in detail. This research focuses on images of local townscapes and historical buildings depicted by the new visual effects technique of lithography, and aims to examine the artistic value of landscape paintings as works of art, rather than mere illustrations with accompanying explanatory text, and to place them in an art historical context.